

問4-4 輸血責任医師は日本輸血学会認定医ですか

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	22	1.57%	17	5.74%	74	35.24%	113	5.92%
b	いいえ	1382	98.43%	279	94.26%	136	64.76%	1797	94.08%
	合計	1404		296		210		1910	

【2008年1-11. 輸血責任医師(専任、兼任)は】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が日本輸血・細胞治療学会認定医である	11	1.08%	12	3.50%	73	28.74%	96	5.94%
2	一部の者が認定医である	9	0.88%	4	1.17%	28	11.02%	41	2.54%
3	全員日本輸血・細胞治療学会認定医ではない	999	98.04%	327	95.34%	153	60.24%	1479	91.52%
	合計	1019		343		254		1616	

問5-1 輸血担当検査技師について

【17年度】輸血担当技師はいますか

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2197	60.67%	368	92.93%	233	95.49%	2798	65.67%
2	いいえ	1424	39.33%	28	7.07%	11	4.51%	1463	34.33%
	合計	3621		396		244		4261	

問5-2 輸血担当技師の専任と兼任について

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	専任である	91	4.16%	107	29.40%	172	73.82%	370	13.29%
b	兼任である	2096	95.84%	257	70.60%	61	26.18%	2414	86.71%
	合計	2187		364		233		2784	

【2008年1-14. 輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」は】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる（専任）	96	5.19%	174	41.33%	216	78.26%	486	19.07%
2	いる（兼任）	1341	72.45%	234	55.58%	56	20.29%	1631	64.01%
3	いない	414	22.37%	13	3.09%	4	1.45%	431	16.92%
	合計	1851		421		276		2548	

問5-3 技師数は

【17年度】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	1人	603	27.62%	80	22.10%	19	8.23%	702	25.29%
b	複数	1580	72.38%	282	77.90%	212	91.77%	2074	74.71%
	合計	2183		362		231		2776	

【2008年1-17.輸血業務を実施している臨床検査技師数(1日平均)】

人数	専任				兼任			
	1～299床	300～499床	500床以上	全体	1～299床	300～499床	500床以上	全体
0.0人	240	28	11	279	41	20	60	121
0.1～1.0人	118	141	58	317	893	198	57	1148
1.1～2.0人	15	40	71	126	354	61	31	446
2.1～3.0人	6	7	54	67	178	31	6	215
3.1～4.0人			21	21	106	12	3	121
4.1～5.0人		1	8	9	41	2		43
5.1～6.0人			9	9	19	2	1	22
6.1～7.0人			7	7	6	2	1	9
7.1～8.0人			2	2	3	1		4
8.1～9.0人			2	2		1	1	2
9.1～10.0人			2	2		1		1
10.0～20.0人					5	5	1	11
20人以上			1	1		1		1
施設数	379	217	246	842	1646	337	161	2144

人数	非常勤			
	1～299床	300～499床	500床以上	全体

0.0人	238	70	71	379
0.1~1.0人	109	14	23	146
1.1~2.0人	9	2	7	18
2.1~3.0人	2		1	3
3.1~4.0人	1			1
4.1~5.0人				
5.1~6.0人		1		1
6.1~7.0人				
7.0人以上			1	1
施設数	359	87	103	549

問5-4 認定輸血検査技師ですか？

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	全員が認定技師である	20	0.93%	19	5.23%	14	6.03%	53	1.94%
b	一部の者が認定技師である	98	4.58%	120	33.06%	159	68.53%	377	13.78%
c	全員認定技師ではない	2022	94.49%	224	61.71%	59	25.43%	2305	84.28%
	合計	2140		363		232		2735	

【2008年1-15.「輸血担当技師」は、日本輸血・細胞治療学会認定技師ですか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が認定技師である	13	0.91%	27	6.65%	15	5.54%	55	2.62%
2	一部の者が認定技師である	63	4.42%	135	33.25%	188	69.37%	386	18.36%
3	全員認定技師ではない	1349	94.67%	244	60.10%	68	25.09%	1661	79.02%
	合計	1425		406		271		2102	

問5-5 専門性を考慮し、技師の人事異動を最小限にする配慮をしていますか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1308	65.79%	250	72.05%	164	75.23%	1722	67.45%
b	いいえ	680	34.21%	97	27.95%	54	24.77%	831	32.55%
	合計	1988		347		218		2553	

【2008年1-18.輸血業務の専門性を考慮し、技師の人事異動を最小限にする配慮をしていますか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	741	44.69%	257	63.77%	194	72.39%	1192	51.18%
2	いいえ	917	55.31%	146	36.23%	74	27.61%	1137	48.82%
	合計	1658		403		268		2329	

問6 「担当技師」による輸血検査は24時間対応できる体制を取っていますか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1932	59.63%	329	84.79%	209	86.36%	2470	63.82%
2	いいえ	1308	40.37%	59	15.21%	33	13.64%	1400	36.18%
	合計	3240		388		242		3870	

【2008年1-36.夜間・休日の輸血検査体制について】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	臨床検査技師による日当直体制	195	9.65%	295	70.57%	256	92.42%	746	27.47%
2	臨床検査技師のオンコール体制	1376	68.09%	108	25.84%	14	5.05%	1498	55.15%
3	医師・看護師が担当する体制	187	9.25%	2	0.48%	7	2.53%	189	6.96%
4	その他	263	13.01%	13	3.11%	0	0.00%	283	10.42%
	合計	2021		418		277		2716	

問7 「担当技師」、「責任医師」等の活動について、お伺いします。

問7-2 医療機関関係者は「輸血責任医師」および「輸血担当技師」が指摘する輸血医療に関する発言等を尊重するように、院内のコンセンサスの確保に努めていますか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	2155	73.95%	327	88.38%	196	85.22%	2678	76.21%
b	いいえ	759	26.05%	43	11.62%	34	14.78%	836	23.79%
	合計	2914		370		230		3514	

【2008年1-19.】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1007	60.92%	282	71.94%	205	77.07%	1494	64.65%
2	いいえ	646	39.08%	110	28.06%	61	22.93%	817	35.35%
	合計	1653		392		266		2311	

問7-3 「輸血担当技師」が、主治医等からの血液発注量が各種指針に準拠せず、多かった場合等に、「輸血責任医師」及び「輸血療法委員会等委員長」と協議し、その結果を踏まえ、「輸血責任医師」又は「輸血担当技師」が、主治医に対して使用量が多いことを指摘し、双方、十分な協議のもと理解を得た上で改善を促す体制にありますか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1226	42.39%	205	54.09%	142	60.17%	1573	44.85%
b	いいえ	1666	57.61%	174	45.91%	94	39.83%	1934	55.15%
	合計	2892		379		236		3507	

【2008年1-20】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	627	37.48%	202	50.25%	158	59.62%	987	42.18%
2	いいえ	1046	62.52%	200	49.75%	107	40.38%	1353	57.82%
	合計	1673		402		265		2340	

問8-1 院内に「輸血療法委員会等」を設置していますか。

【17年度】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1516	42.04%	365	92.41%	236	96.33%	2117	49.86%
2	いいえ	2090	57.96%	30	7.59%	9	3.67%	2129	50.14%
	合計	3606		395		245		4246	

【2008年1-50.輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会はありますか】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1319	65.01%	396	94.74%	273	98.91%	1988	73.01%
2	いいえ	670	33.02%	20	4.78%	3	1.09%	693	25.45%
3	その他	40	1.97%	2	0.48%	0	0.00%	42	1.54%
	合計	2029		418		276		2723	

問8-2 委員長は医療機関管理者又は外科系医師（麻酔科を含む）ですか。

【17年度】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1130	77.50%	254	72.57%	141	61.57%	1525	74.86%
b	いいえ	328	22.50%	96	27.43%	88	38.43%	512	25.14%
	合計	1458		350		229		2037	

【2008年1-51.輸血療法委員会等の委員長は医療機関管理者又は外科系医師（麻酔科を含む）ですか】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1016	66.75%	302	73.84%	174	63.74%	1492	67.70%
2	いいえ	506	33.25%	107	26.16%	99	36.26%	712	32.30%
	合計	1522		409		273		2204	

問8-3 委員会に、輸血が必要な症例の多い診療科の責任者を参画させていますか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	1183	83.49%	316	90.80%	215	95.98%	1714	86.17%
b	いいえ	234	16.51%	32	9.20%	9	4.02%	275	13.83%
	合計	1417		348		224		1989	

【2008年1-52.輸血療法委員会等の委員会に、輸血が必要な症例の多い診療科の責任者を参画させていますか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1044	70.35%	349	86.39%	254	93.73%	1647	76.29%
2	いいえ	440	29.65%	55	13.61%	17	6.27%	512	23.71%
	合計	1484		404		271		2159	

問9 「輸血療法委員会等」の開催頻度はどの程度ですか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	定期的（毎週）	5	0.63%	0	0.00%	0	0.00%	5	0.43%
b	定期的（毎月）	294	37.22%	64	27.95%	27	18.37%	385	33.02%
c	定期的（年3~4回）	299	37.85%	115	50.22%	101	68.71%	515	44.17%
d	定期的（年1~2回）	192	24.30%	50	21.83%	19	12.93%	261	22.38%
e	不定期	507	38.15%	67	20.62%	31	15.05%	605	32.53%
	合計	1297		296		178		1771	

【2008年1-53.輸血療法委員会の2008年(1月～12月)の年間開催回数は】

回数	1～299床	300～499床	500床以上	全体
0回	178	13	1	192
1回	87	13	4	104
2回	129	13	7	149
3回	56	12	6	74
4回	94	27	12	133
5回	34	12	7	53
6回	475	229	182	886
7回	25	12	6	43
8回	19	10	5	34
9回	8	4	3	15
10回	21	11	13	45
11回	19	11	16	46
12回	313	39	10	362
13回	2			2
16回	1			1
53回	1			1
59回	1			1
施設数	1463	406	272	2141



問10 「輸血療法委員会等」として、以下の項目で実施しているものに全て○を付けて下さい。

【17年度】 複数選択項目

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	816	30.77%	245	36.73%	172	34.19%	1233	32.26%
2	貴施設の管理者の指示のもと、毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	265	9.99%	76	11.39%	49	9.74%	390	10.20%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、「血液製剤の平均的使用量について」（平成16年12月27日付け薬食発第1227001号各都道府県知事あて厚生労働省医薬食品局長通知）を活用するなどして、他医療機関と比較検討及び評価している。	406	15.31%	135	20.24%	114	22.66%	655	17.14%
4	各種指針*の遵守状況について、各科から報告・検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会又は「採血時の欧州滞在歴に関する問診の強化及び血液製剤の適正使用の推進について」（平成17年4月21日付け薬食発第0421003号（社）日本医師会長等あて厚生労働省医薬食品局長通知）における別紙連絡先に照会している。	62	2.34%	22	3.30%	18	3.58%	102	2.67%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	518	19.53%	90	13.49%	73	14.51%	681	17.82%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	585	22.06%	99	14.84%	77	15.31%	761	19.91%
	回答施設合計	1406		322		209		1937	

【2008年1-55.輸血療法委員会で実施している項目は】

複数回答

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	833	63.59%	315	80.15%	242	89.30%	1390	70.42%
2	毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	276	21.07%	89	22.65%	68	25.09%	433	21.94%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、他医療機関と比較検討及び評価している。	284	21.68%	148	37.66%	100	36.90%	532	26.95%
4	各種指針の遵守状況について、各科から報告・検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会等に照会している。	107	8.17%	39	9.92%	29	10.70%	175	8.87%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	386	29.47%	114	29.01%	108	39.85%	608	30.80%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	224	17.10%	102	25.95%	85	31.37%	411	20.82%
7	輸血検査（血液型、不規則抗体、交差適合試験等）の方法について、輸血の安全性を高めるために適宜見直している。	572	43.66%	183	46.56%	147	54.24%	902	45.69%
8	輸血実施時の手順について、マニュアル通りに実施されているかどうかを監査している。	557	42.52%	126	32.06%	84	31.00%	767	38.86%
9	輸血療法に伴う事故・副作用等について、各部署毎の状況を把握して具体的対策を講じている。	598	45.65%	213	54.20%	170	62.73%	981	49.70%
10	輸血関連情報の伝達について、個々の医療従事者へ直接伝達する方法がある。	627	47.86%	197	50.13%	140	51.66%	964	48.83%
11	自己血輸血の実施方法について、成分採血やフィブリン糊の導入を検討したことがある。	37	2.82%	30	7.63%	53	19.56%	120	6.08%
12	輸血療法委員会議事録の院内への周知について、特に医師に周知されたことを確認している。	411	31.37%	112	28.50%	77	28.41%	600	30.40%
	回答施設合計	1310		393		271		1974	

問11 血液製剤による副作用（輸血感染症を含む）の報告体制について、該当するもの全てに○を付けて下さい。

【17年度】 複数選択項目

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内、日赤血液センター、厚生労働省のいずれへの報告体制もない。	454	8.09%	14	1.68%	2	0.34%	470	6.67%
2	病院内の報告体制はある。	2754	49.08%	352	42.21%	225	37.69%	3331	47.30%
3	日赤血液センターへの報告体制はある。	1696	30.23%	311	37.29%	226	37.86%	2233	31.71%
4	厚生労働省への報告体制はある。	707	12.60%	157	18.82%	144	24.12%	1008	14.31%
	回答施設合計	3500		393		243		4136	

【2008年1-47.輸血用血液による副作用の報告システムについて】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	94	4.74%	111	26.43%	164	59.64%	369	13.78%
2	薬剤部門に報告する体制	196	9.89%	17	4.05%	6	2.18%	219	8.18%
3	検査部門に報告する体制	549	27.70%	205	48.81%	87	31.64%	841	31.42%
4	輸血療法委員会に報告する体制	400	20.18%	37	8.81%	13	4.73%	450	16.81%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	238	12.01%	12	2.86%	1	0.36%	251	9.38%
6	主治医がカルテに記載するのみ	320	16.15%	17	4.05%	2	0.73%	339	12.66%
7	副作用の報告体制がない	120	6.05%	14	3.33%	2	0.73%	136	5.08%
8	その他	65	3.28%	7	1.67%	0	0.00%	72	2.69%
	合計	1982		420		275		2677	

【2008年1-48.輸血副作用発症例を血液センターへ報告されていますか】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	620	34.14%	61	14.81%	20	7.35%	701	28.04%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	553	30.45%	265	64.32%	221	81.25%	1039	41.56%
3	通常はセンターへ報告していない	643	35.41%	86	20.87%	31	11.40%	760	30.40%
	合計	1816		412		272		2500	

【2008年1-49.血漿分画製剤による副作用の報告システムについて】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	47	2.48%	21	5.16%	36	13.43%	104	4.04%
2	薬剤部門に報告する体制	512	26.98%	205	50.37%	146	54.48%	863	33.54%
3	検査部門に報告する体制	206	10.85%	53	13.02%	14	5.22%	273	10.61%
4	輸血療法委員会に報告する体制	319	16.81%	25	6.14%	10	3.73%	354	13.76%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	222	11.70%	15	3.69%	7	2.61%	244	9.48%
6	主治医がカルテに記載するのみ	308	16.23%	28	6.88%	5	1.87%	341	13.25%
7	副作用の報告体制がない	187	9.85%	47	11.55%	34	12.69%	268	10.42%
8	その他	97	5.11%	13	3.19%	16	5.97%	126	4.90%
	合計	1898		407		268		2573	

問12 輸血感染症の疑いのある症例について、過去の輸血例も含めて、血液製剤による健康被害の防止の観点から、日本赤十字社又は厚生労働省へ報告していますか。

【17年度】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	336	9.37%	127	32.40%	142	57.96%	605	14.33%
2	いいえ	124	3.46%	8	2.04%	3	1.22%	135	3.20%
3	今まで該当する症例がなかった	3125	87.17%	257	65.56%	100	40.82%	3482	82.47%
	合計	3585		392		245		4222	

【2008年1-96.改正薬事法では特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生した場合、医療施設は厚生労働省に報告する義務があることが記載されていますが、このことに取り組んでいますか】

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取り組んでいる	1088	58.28%	304	75.81%	224	83.58%	1616	63.72%
2	取り組んでいない	282	15.10%	30	7.48%	21	7.84%	333	13.13%
3	現在検討中である	497	26.62%	67	16.71%	23	8.58%	587	23.15%
	合計	1867		401		268		2536	

問13 血液製剤の適正使用に関する、病院としての取組について該当するのはどれですか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	2424	67.84%	146	37.24%	71	28.98%	2641	62.73%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	325	9.10%	28	7.14%	15	6.12%	368	8.74%
3	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	824	23.06%	218	55.61%	159	64.90%	1201	28.53%
	合計	3573		392		245		4210	

【2008年1-57.輸血製剤の適正使用に関する、病院としての取り組みは】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	717	36.66%	245	59.47%	203	77.19%	1165	44.28%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	111	5.67%	23	5.58%	15	5.70%	149	5.66%
3	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	1128	57.67%	144	34.95%	45	17.11%	1317	50.06%
	合計	1956		412		263		2631	

問14 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び「薬事法」に基づく医療関係者の責務について、

1. 担当医師等の関係者が、特定生物由来製品を使用する際には、原材料に由来する感染のリスク等について、特段の注意を払う必要があることを、当該関係者は十分認識していると思いますか。

【2008年該当項目無し】

2. 血液製剤（血漿分画製剤を含む）の有効性及び安全性その他当該製品の適正な使用のために必要な事項について、担当医師等の関係者が、患者又はその家族に対し、適切かつ十分な説明を行い、その理解を得る（インフォームド・コンセント）ように、努めていると思いますか。

【2008年該当項目無し】

問15 平成17年の厚生労働省通知「血液製剤の使用指針・輸血療法の実施に関する指針」(以下「指針」)の遵守体制について、該当するものはどれですか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	「指針」の遵守は、個々の医師に任せており、輸血関連部門への配布はしていない。	837	23.54%	28	7.20%	9	3.69%	874	20.87%
2	輸血関連部門に「指針」を配布しているが、院内に周知していない。	667	18.76%	64	16.45%	25	10.25%	756	18.05%
3	院内の医師、看護師に「指針」を配布し周知しているがマニュアルはない。全くしていない	999	28.10%	80	20.57%	63	25.82%	1142	27.27%
4	「指針」を院内に周知し、院内の輸血療法マニュアルに反映させて実施している。	1052	29.59%	217	55.78%	147	60.25%	1416	33.81%
	合計	3555		389		244		4188	

【2008年1-97.血液法と改正薬事法の理念および上記の「輸血療法の実施に関する指針と血液製剤の使用指針」について、輸血療法委員会を通じて院内に周知していますか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	内容を含め十分周知している	654	34.97%	213	51.95%	185	69.03%	1052	41.29%
2	内容まで十分知らせていない	890	47.59%	170	41.46%	75	27.99%	1135	44.54%
3	全くしていない	168	8.98%	12	2.93%	1	0.37%	181	7.10%
4	その他	158	8.45%	15	3.66%	7	2.61%	180	7.06%
	合計	1870		410		268		2548	

問16 指針」によれば、「(輸血後肝炎について)、早期治療を図るため、医師が感染リスクを考慮し、感染が疑われる場合などには、輸血前後の肝炎ウイルス関連マーカーの検査等を行う 必要がある」とされていますが、この指針の条件に該当する患者に対する検査の実施状況について、該当するものはどれですか。

【17年度】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほとんど行っていない。	471	13.25%	53	13.70%	26	10.74%	550	13.14%
2	一部は行っている。	997	28.04%	200	51.68%	140	57.85%	1337	31.95%
3	ほぼ全ての患者に対して行っている。	768	21.60%	80	20.67%	60	24.79%	908	21.70%
4	該当する症例なし。	1320	37.12%	54	13.95%	16	6.61%	1390	33.21%
	合計	3556		387		242		4185	

【2008年1-28.遡及調査のガイドラインに沿って輸血前感染症検査を行っていますか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として独立して、原則として全ての症例で行っている	381	19.11%	89	21.55%	62	22.55%	532	19.84%
2	輸血前検査として独立して、症例によって行っている	116	5.82%	32	7.75%	30	10.91%	178	6.64%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	1220	61.18%	251	60.77%	162	58.91%	1633	60.89%
4	行っていない	277	13.89%	41	9.93%	21	7.64%	339	12.64%
	合計	1994		413		275		2682	

【2008年1-29遡及調査のガイドラインに沿って輸血後感染症検査を行なっていますか】

番号	項目	1~299床		300~499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	509	26.40%	135	33.33%	93	34.44%	737	28.31%
2	症例によって行っている	875	45.38%	192	47.41%	143	52.96%	1210	46.48%
3	行っていない	544	28.22%	78	19.26%	34	12.59%	656	25.20%
	合計	1928		405		270		2603	

問17 厚生労働省通知「血液製剤の平均的使用量について」（平成16年12月27日付薬食発第1227001号各都道府県知事あて厚生労働省医薬食品局長通知、以下「通知」）について、医療機関管理者にお伺いします。

【17年度】「通知」を知っていますか

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	はい	2733	78.31%	332	88.30%	206	89.18%	3271	79.84%
b	いいえ	757	21.69%	44	11.70%	25	10.82%	826	20.16%
	合計	3490		376		231		4097	

【17年度】「通知」の周知状況、活用方法について

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
a	院内への周知徹底等の特段の対応はせず、個々の医師に任せている。	1109	41.20%	54	16.51%	38	19.00%	1201	37.31%
b	輸血関連部門には配布しているが、院内全体への周知徹底はしていない。	882	32.76%	143	43.73%	79	39.50%	1104	34.30%
c	院内全体での周知徹底はしている。	415	15.42%	60	18.35%	40	20.00%	515	16.00%
d	院内に周知徹底し、輸血療法委員会等で評価・検討するとともに、院内の輸血療法マニュアルに反映させるなど、活用している。	286	10.62%	70	21.41%	43	21.50%	399	12.40%
	合計	2692		327		200		3219	

【2008年該当項目無し】

問18 厚生労働省通知「血液製剤の適正使用推進に係る先進事例等調査結果及び具体的強化方策の提示等について」（平成17年6月6日付各都道府県衛生主管部（局）長あて厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知）を知っていますか。（医療機関管理者にお伺いします。）

番号	項目	1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2124	60.93%	274	72.68%	180	77.59%	2578	62.95%
2	いいえ	1362	39.07%	103	27.32%	52	22.41%	1517	37.05%
	合計	3486		377		232		4095	

【2008年該当項目無し】